



須磨浦台路記
全



○松尾村雨後の井 ぬ井畑村あり

○村雨堂 西次郎東の入りはうらひうらひの海ふらふとてやうての女はすゆのうらひうらひの海ふらふとてやうて

西次郎東の入りはうらひうらひの海ふらふとてやうての女はすゆのうらひうらひの海ふらふとてやうて

○長回社 長回社あり長回社あり長回社あり長回社あり

○諏訪社 諏訪社あり諏訪社あり諏訪社あり諏訪社あり

○天神社 天神社あり天神社あり天神社あり天神社あり

○重働松 重働松あり重働松あり重働松あり重働松あり

○須石の麓 須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり

○重働松 重働松あり重働松あり重働松あり重働松あり

○須石の麓 須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり

○重働松 重働松あり重働松あり重働松あり重働松あり

○須石の麓 須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり

○重働松 重働松あり重働松あり重働松あり重働松あり

○須石の麓 須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり

○重働松 重働松あり重働松あり重働松あり重働松あり

○須石の麓 須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり須石の麓あり

○重働松 重働松あり重働松あり重働松あり重働松あり

○ 光徳氏の四柱

中せうたより河原光と境内なり

○ 若木ノ橋

次子あり河原の老日なりはれかゝる橋し
若木の橋日の子をてて定ぬるなり

さういふ川のつれや

河原の橋く大宮人の名は橋にほくせよ

橋をたつたの若木をれとて河原美屋の総理人 定ぬる

河原をたつたの若木をれとて河原美屋の総理人 定ぬる

○ 須六関

ちより河のた右の基なり

河原の橋く大宮人の名は橋にほくせよ

橋をたつたの若木をれとて河原美屋の総理人 定ぬる

河原をたつたの若木をれとて河原美屋の総理人 定ぬる

○ 須磨寺

上中山福祥寺と云河原をたつたの若木をれとて河原美屋の総理人 定ぬる

高麗僧と云物なり河原をたつたの若木をれとて河原美屋の総理人 定ぬる

○ 深谷野橋うけ松

赤坂の建立正月八日と鬼地なり

○ 某師堂

赤坂の建立正月八日と鬼地なり

○ 橋舟社

いふいふの月己の日は社あり地元のむすむすの橋の舟の

八百万神もはる思ふ人相するはよとれはなは

はる思ふ人相するはよとれはなは

○ 村上天皇社

赤坂の建立正月八日と鬼地なり

○ 泉の井

石塔の上れ基あり

○ 熊谷平山

二三のうけと幸ひに播州垣尾村のまうえ森を
生田川と大子と一西垣尾と楯をじてを
三里路と城とせしむ西のまより次々その古縁の敷まみれ
とふまを存名ふ記とつみそをけしむ見はけす田の浦の
多きの傍生と城焚つる人のまふ記とあり

延享三寅年正月開板

播州須磨浦一谷角

嘉永二酉年三月再版

産亀堂藏板